

寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	島根半島四十二浦巡り再発見研究会
テーマ名	フリーテーマ（農村漁村又は中間地域の振興）
事業名	島根半島四十二浦巡り・ジオパークマナーアップ事業
事業費(うち助成金額)	601,635 円 (500,000 円)
ネーミングライツ(該当があれば)	ティーエスケイ情報システム株式会社寄附 新型コロナウイルス感染症対応事業



■事業目的

コロナ感染症の感染に伴い、島根半島沿岸では、四十二浦巡り、ジオパーク、釣り客の訪問者が増加して、地域住民から感染症予防に不安を訴える意見があった。神社の所在地・駐車場・トイレ等現地の訪問者の質問による感染予防を実施する必要を感じた。このため四十二浦の浦々で住民と訪問者の接触を低減させるため、四十二浦巡りの普及のため「島根半島四十二浦巡り巡礼帖」等発行している当研究会として、地域自治会・神社総代会と相談の上案内看板を設置することにした。

■事業内容

松江市・出雲市もコロナ感染のさなかであり、看板設置について、直接聞き取りを避けて四十二浦関係45社寺に文書照会を発送して、意向調査を実施した。この結果27ヶ所の神社から看板設置について希望があった。この神社に対して神社・駐車場・トイレについて、看板標記内容を協議した。協議の結果により、27社36ヶ所の看板の試作を提案し、さらに看板の設置場所について地権者の確認を依頼して、看板設置について、調査を進めた。次いで看板設置の工事方法について、安価に工事するため工事に熟練したボランティアの工事人を選任して、フェンス基礎の製作、看板を取り付ける支柱の製作、看板の取り付け方法など、日数のかからない方法を協議し、自治会長・神社総代長立会いの下に看板を設置した。

■事業成果と今後の展望

四十二浦巡りの神社の内27社36枚のアルミ合金製看板を設置したが、島根半島沿岸の全体から見ると60%の設置率となっているが、希望のなかった社寺は住職・神職が常駐している、あるいは既に案内看板を独自に設置されているので、訪問者に呼び掛ける感染注意看板は有効な設置状況になったと思う。浦々の神社管理者に話を聞いたところでは、コロナ禍の中、神社訪問者だけではなく、釣り客の増加により港での不法駐車、サザエ等海産物の無断採取、賽銭盗等招かれざる訪問者も増えていて、浦々では生活に影響のある状況であることも分かった。神社訪問者への注意呼びかけにより、逆説的に地域住民の困っていることも地元と訪問者に周知できるのではないかと思う。コロナ禍がまだ安心できる状況ではなくて、むしろこれから夏・秋にかけて訪問者が増加する時節が到来する今後の状況を見定める必要があり、この看板の成果が伺えると思う。希望されなかった神社からもこの感染症注意看板について、新たな要望があれば、巡礼者を気持ちよく迎えることが出来るよう対応したいと思う。